

西日本の専門店ネットワーク オエステ会 今注目の新製品&コト10選



文具店TAG本店

京都市下京区烏丸通り高辻下る薬師前町707
烏丸シティ・コアビル1F

- 「ハンコココデコ」(クツフ)
簡単にデコレーションを楽しめる、重ねて押せるハンコ。重ねて押せる斬新なアイデアに注目が集まっている。
- 「御朱印帳」(クルーシャル)
神社やお寺をイメージした木のぬくもりが伝わる御朱印帳。国内外の観光客に大人気。
- 「京舞妓チャーム付きユニボールワンF」
文具店TAGオリジナルの舞妓さんチャーム付きの「ユニボールワンF」。手軽に買えるお土産として人気が高い。
- 「水書きYO!シート」(開明)
書いては消え、何度でも楽しめる不思議なシート。水書関連は見本展示とデモ販売でお客様の興味を引く。
- 「透明くれよん」(コクヨ)
半透明のオイルゲルクレヨン。子ども向けの画材は人気があり、中でも透明感ある彩色が楽しめるクレヨンは好評。
- 「ゆうざりノートブック」(ナカバヤシ)
良い紙のノートを探すユーザーに大人気の商品。万年筆との相性が良いのも人気の理由。
- 「ジェットストリーム Lite touch ink」(三菱鉛筆)
より「かろやか」な書き心地の新インク。さらに滑らかになった書き心地にお客様が感動。
- 「オレパw ith のり」(ソニック)
切る貼る1本完結!プリントカッターと色消えるのり。メディアで紹介後、問い合わせが急増。
- 「オリエステルおりがみ」(カクワ)
美しい光沢と透明感があり、水に強いポリエステル製のおりがみ。和柄はインパウンドの売れ筋。
- 「ROKKAKUシリーズ」(フタバ)
箔押しペーパーアイテム。色鮮やかなデザインは売場が華やかになり、お客様の目にも留まりやすい。

店舗掲示板

(お知らせ・イベント情報)

◆「文具店 tagBivi 二条店」が6月20日にリニューアルオープンしました。売場面積を拡大して、地元客や観光客のニーズに対応した定番文具から京都らしい雑貨まで幅広い品揃えで展開しています。所在地は京都市中京区西ノ京梅尾町1-6 Bivi 二条1F 大垣書店内



2026年版のダイアリー

株式会社デザインフィル (会田 一郎社長、東京都)は、2026年版のダイアリーとダイアリーを発売した。ダイアリーは47SKU (昨年48SKU)、ダイアリー92SKU (昨年91SKU)をラインアップ。ダイアリーは、「壁用カレンダー」にポケットダイアリーで人気のイヌのイメージをラインアップ。梅田ロフトが、1990年4月に大阪市北区の地に開業した梅田ロフトを、茶屋町から阪神梅田本店6階に移転、5月21日にリニューアルオープンした。



梅田ロフト

梅田ロフトは、「L O F T 市場NEO」をコンセプトに、商店街や市場の賑わいの活気ある場をイメージさせる店舗空間と色鮮やかで目移りするような商品群で売場を展開。ダイアリーは、約672坪(茶屋町の4割に縮小)、商品数約4万種類を取り扱う。文具雑貨(1万9000種類)、健康雑貨(同)、生活雑貨(3000種類)の4領域で売り場構成し、売れ筋や新商品を中心に多彩に品揃え。勸学流の文字で表現したのれんやちょうちんのデザイン、和風の素材などインパウンド対策も強化している。



伊東屋に表彰状を授与する藤崎社長

【ピュロウ発】株式会社パイロットコーポレーション(藤崎文男社長、東京都)は、6月3日午後4時30分から、東京・日本橋蛸殼町のロイヤルパークホテルで「パイロットプレミアム」の生産性向上を図っている。2025年12月期第1四半期は、国内は物価高となり、景気は緩やかに回復、海外は長引く中国経済の低迷、世界経済の不透明感という中で、売上高は前年同期比1.1%増の291億円、内外別では、国内が2.1%減の72億円、海外が2.2%増の218億円となった。営業利益は55.5%増の46億円、経常利益は0.6%減の40億円、四半期純利益は31.3%減の18億円となった。



出張理事会の参加者

大阪文紙事務協同組合(松本圭司理事長)は、6月6、7日に滋賀県東近江市の休暇村「近江八幡・東館」で令和7年度の出張理事会を開催した。理事会は、村田副理事長の司会で進め、松本理事長が多数の出席を謝し「令和7年度の出張理事会を今年度は場所を変えて開催した。お陰で組合の運営も順調に推移しており、水泳の会やビールパーティ開催など、例年通りの行事開催を予定している。今回は天気にも恵まれたが、間もなく梅雨入りになり、季節の変わり目ともなるので体調に留意して頂きたい。理事会終了後は引き続き賛助会員を交えて懇親会になり、美味い近江牛とお酒を召し上がって頂き、日頃の疲れを癒して楽しんで頂く」と挨拶。

年間販売部門 最優秀賞に伊東屋

パイロットプレミアム
メンバーズ全国贈賞式

パイロットプレミアム(以下「パイ」)は、2009年にスタートし17年目を迎えた。全国贈賞式は第12回を数え、これまで継続してきたのもメンバーズのおかげである。朝のニュースでミスターシャイアント、ミスタープロ野球の長嶋茂雄さんが亡くなったというニュースに触れた。時代が大きく変わったのかもしれない。私も社長に就任して早くも1年が過ぎた。さて、今年に入り、トランプ大統領の関税問題が世界中で大騒ぎになっており、当社も直接の影響を受けることになる。このピンチをチャンスととらえ、グループ全体の生産性向上を図っている。

進(全体最適視点での業務改革の推進、グループ経営体制強化・人材育成の推進、筆記事業のグローバル化)を推進している。2025年の売上高は1330億円、営業利益180億円、経常利益190億円、営業利益率13.5%、ROE10%以上を見込んでおり、2027年の売上高は1450億円、営業利益率16%以上、ROE11%以上を目指す。

いま、原材料やエネルギー高という厳しい環境だが、2030年ビジョンに向けて、中期経営計画を達成していく。そのために、当社独自の開発・技術・生産をさらに強化し、エンドユーザーに付加価値の高いものを届けていく。①自律できる人材②挑戦できる人財③協働できる人材を養成し、みなさんと一緒に何ができるのか考えていきたい。

引き続き総務委員会報告として松本理事長が①今期(令和7年度)の決算予測について②文紙卸連の総会について説明。その後、各議案の審議に入り、今期の行事予定等として、事業企画委員会(高森委員長、厚生委員会(八木委員長)が報告し、すべて承認した。最後に横山副理事長が閉会挨拶し、理事会を終了した。

秋山敏氏(卸組合)。バスとグロスと村田和俊氏(エコーマインド)。ゴルフ以外の出席者は当日の午後5時にホテル集合。各自部屋でくつろいだ後、午後6時より理事会を開催。懇親会は松本理事長の挨拶の乾杯・発声により開宴、和やかに歓談して懇親を深めた。村田副理事長の閉宴挨拶で午後8時30分に終了し、翌日は朝食後に自由解散した。

順調な組合運営報告

大阪 近江八幡で出張理事会

大阪文紙事務協同組合(松本圭司理事長)は、6月6、7日に滋賀県東近江市の休暇村「近江八幡・東館」で令和7年度の出張理事会を開催した。理事会は、村田副理事長の司会で進め、松本理事長が多数の出席を謝し「令和7年度の出張理事会を今年度は場所を変えて開催した。お陰で組合の運営も順調に推移しており、水泳の会やビールパーティ開催など、例年通りの行事開催を予定している。今回は天気にも恵まれたが、間もなく梅雨入りになり、季節の変わり目ともなるので体調に留意して頂きたい。理事会終了後は引き続き賛助会員を交えて懇親会になり、美味い近江牛とお酒を召し上がって頂き、日頃の疲れを癒して楽しんで頂く」と挨拶。

幅広いラインアップ

○…デザインフィル…○

2026年版ダイアリー発表

株式会社デザインフィル(会田 一郎社長、東京都)は、2026年版のダイアリーとダイアリーを発売した。ダイアリーは47SKU (昨年48SKU)、ダイアリー92SKU (昨年91SKU)をラインアップ。ダイアリーは、「壁用カレンダー」にポケットダイアリーで人気のイヌのイメージをラインアップ。ダイアリーは、約672坪(茶屋町の4割に縮小)、商品数約4万種類を取り扱う。文具雑貨(1万9000種類)、健康雑貨(同)、生活雑貨(3000種類)の4領域で売り場構成し、売れ筋や新商品を中心に多彩に品揃え。勸学流の文字で表現したのれんやちょうちんのデザイン、和風の素材などインパウンド対策も強化している。

梅田ロフトが 移転オープン

株式会社デザインフィル

株式会社デザインフィル(会田 一郎社長、東京都)は、1990年4月に大阪市北区の地に開業した梅田ロフトを、茶屋町から阪神梅田本店6階に移転、5月21日にリニューアルオープンした。